

PFAS Webinar 2025

7.29 火 14:00 - 15:30

Zoom ONLINE | 参加無料 | 先着500名様

有機フッ素化合物PFASのうち特にPFOSおよびPFOAにおいて設定されていた暫定目標値が、水道法上の水質検査基準値に引き上げられることになりました。環境省が決定したこの方針により、基準を超えた場合の改善措置が2026年4月から法的に義務づけられることになり、水道水中のPFAS分析の重要性はますます高まっています。これを受けて、本Webinarでは特別講演として水処理装置メーカーである栗田工業株式会社の榎本幹司様より、実際にLC-MS/MSを使用して水中のPFAS分析を行うなかで深められた知見や工夫の数々をご紹介します。それに加えて、弊社からは前処理や測定のノウハウ、分析事例といったPFAS分析の最新事情をお届けします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



こんな方におすすめです！

- ✓ PFAS規制に関する分析対応を検討されている方
- ✓ 化学・医薬・食品業界で水中のPFAS分析の対応を求められている方
- ✓ 受託分析や水道水質検査に携わっている方

講演スケジュール & 講演要旨

特別講演

14:00～14:50

水中PFASの多成分一斉分析における実際

栗田工業株式会社 イノベーション本部 技術開発部門 先進水処理開発グループ
アクアインサイトテクノロジーチーム 榎本 幹司 様

当社では、PFASを含む水の処理技術の検討を効率よく実施するため、自社内でのPFAS多成分一斉分析体制の整備を行いました。実際のPFAS分析に携わる中で、気付いたこと、工夫したことについて、LC-MS/MSのユーザーの立場でお話します。

技術講演

14:50～15:30

PFAS分析の最新動向 ～分析のノウハウから最新アプリケーションをご紹介します～

株式会社島津製作所

水道水を中心としたPFAS分析の最新動向についてご紹介します。近年PFASの環境への影響が広く認識され、水質汚染への関心が高まっています。来年度には、PFOAやPFOSに関する法改正が検討されており、PFAS分析の重要性が一層増すと考えられます。本セッションではPFAS分析に取り組む方々に向けて、前処理の重要性や測定に関するノウハウ、さらにLC-MS/MSを用いた最新アプリケーションについて詳しくご紹介します。

お申し込み & お問い合わせ

下記URLのWebページにアクセスし、必要事項を入力の上お申し込みください。
お申し込み後、受付メールが自動配信されます。



<https://www.an.shimadzu.co.jp/news-events/2025/202507/pfas.html>

* お問い合わせ：島津製作所セミナー事務局 an_seminar@group.shimadzu.co.jp

※ご提供いただいた個人情報は、展示会・学会・セミナーや新製品等のご紹介、各種情報提供に利用させていただきます。

また、講師の方と共有します。詳細は下記 URL の弊社 Web のプライバシーポリシーをご参照ください。

<https://www.shimadzu.co.jp/attention/privacy.html>

ご紹介する製品

液体クロマトグラフ質量分析計は、微量化学物質の定性・定量分析に最適な装置で、特に多成分の定量分析に優れています。
今回のWebinarでは、最新のトリプル四重極型LCMS-TQ RX シリーズをご紹介します。

